令和５年度成人厚生委員会より

セクシャリティ教育講演会報告

久しぶりに活動を再開した成人厚生委員会ですが、９月２９日に保護者向けのセクシャリティ教育講演会を開催することができました。

今回の講師は、助産師であり、さらに若者に向けて YouTube やマスメディアへの出演など、多方面で活躍されているシオリーヌ（大貫詩織）さんに本校へお越しいただき、様々な側面から日本の「性教育」についてお話しいただきました。

日本語では「性教育」と書きますが、そのお話は哲学や社会全体に繋がる部分もあり、「性」のことを知ることは「生」を知ることそのものなんだと感じました。また、具体的な子どもへの接し方や、話をするときに大切な心構えなどもお話いただき、とても有意義な講演会だったと思います。

本当は７月の授業参観と同時に開催し、普段はお仕事などでなかなかお休みを取れない皆さんにもご参加頂きたかったのですが、急な日程変更になってしまい、楽しみにしてくださっていた皆様にはご迷惑をおかけしました。また今回、お忙しい中ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

＜ご参加頂いた皆さんからいただいたお言葉・抜粋＞

・年長（６才）の男児が、男女の体の違いについて聞いてくるようになったので、どう話すか迷いがありましたが、きちんとごまかさずに話そうと思いました。

・子どもの知る権利、子どもが知りたいときに情報を与えてあげる大切さを再確認できた日になりました。子どもたちにもぜひ受講の機会を与えてほしいです。

・性教育について、自分自身の知識が全然ない、ということを再認識出来ました。そして性教育も大切だということはもちろんですが、親子の関わり方、関係づくりの大切なことに気付けてよかったです。ありがとうございました。

★講習会の様子★

CHOICE

SRHRが尊重されていない現状
セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ
Sexual and Reproductive Health and Rights (SRHR)